

篠原 眞

大阪市出身。東京芸術大学音楽学部(作曲:池内友次郎)、パリ国立高等音楽院(作曲・音楽哲学:オリヴィエ・メシアン、理論、指揮)、フランス放送局音楽探究グループ、ケルン国立音楽大学(作曲:ベルント・アロイス・ツィンマーマン、電子音楽:ゴットフリート・ミハエル・ケューニヒ)、ケルン市立音楽院(作曲:カールハイッツ・シュトックハウゼン)に在学。マギル大学音楽部(モントリオール)客員教授(1978)。パリ(フランス政府給費)、ミュンヘン(バイエルン政府給費)、ケルン(国立音楽大学給費)、ベルリン(ドイツ学術交流局助成)、ローマ(イタリア政府給費)、ニューヨーク(ロックフェラー 3世財団助成)、モントリオール(カナダ芸術評議会助成)、ユトレヒト(ソロジー研究所勤務)に滞在。作品は器楽(洋楽器、邦楽器)(ソロ、室内楽、オーケストラ)、声楽(ソロ、合唱)、電子音楽(電子音、具体音)(テープ、ライブ)の範囲に及び、個々の作品で奏法の開拓、雑音の融合化、空間化(スピーカー、音源移動)、視覚化(奏者移動、マイム、スライド)の探求を行う。オランダ祭のテーマ作曲家(1983)。個展を国内(東京、名古屋、草津)で計7回、国外(ドイツ、オーストリア、オランダ、ポルトガル、ポーランド、アメリカ合衆国)で計12回開催。国内(音楽之友社、全音楽譜出版社)、国外(ルデュック、ショット、リコルディ)より27作品出版。国内10社(カメラータ、フォンテック等)、国外(ドイツ、フランス、オランダ、スイス、デンマーク、スウェーデン、アメリカ合衆国)12社より23作品LP/CDに収録。

ゲスト

川崎弘二(企画・司会)

1970年大阪に生まれる。2006年に『日本の電子音楽』(愛育社)を、2009年に同書の増補改訂版を、2011年に『黛敏郎の電子音楽』(engine books)を上梓。

能美亮士(音響・講師)

Music of New Reference ディレクター。Music of New Reference の活動として2007年「灰野敬二プレイズガムラン」(出演:灰野敬二、宇都宮泰、東瀬戸悟)2009年「Music of New Reference in Kyoto」(出演:宇都宮泰、三輪眞弘、川崎弘二、岸野雄一)、2010年「鈴木昭男Sound Report」(出演:鈴木昭男、東瀬戸悟)2011年「黛敏郎の電子音楽全曲上演会」(京都芸術センター)などがある。

東岳志(音響)

京都在住。映画、音楽などの録音、編集を行う。刻々と変化する空間と定点録音の関わりに疑問を持ち、自らが動いて音を収録する方法を実践。必要な場所の残響をお届けするワールドワイドリバーブサービスも開始準備中。最近「梅田哲也:大きなことを小さくみせる」の展覧会カタログ&DVDの録音を担当。

京都芸術センター KYOTO ART CENTER

〒604-8156

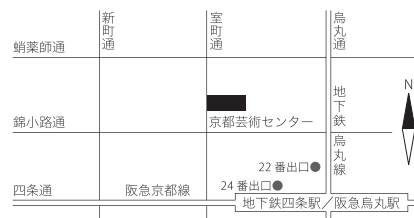
京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2

TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004

URL: <http://www.kac.or.jp>

地下鉄烏丸線「四条駅」、阪急京都線「烏丸駅」
22番・24番出口より徒歩5分。

駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



JCMR KYOTO

<http://flavors.me/jcmrkyoto> jcmr.kyoto@gmail.com

日本の作曲家の研究と作品の普及を目的に、京都市立芸術大学大学院を中心として結成されたグループ。独自の視点から日本における洋楽史をとらえなおし、意欲的なプログラムによる企画を京都で開催している。2011年には京都芸術センター共催事業『黛敏郎の電子音楽全曲上演会』を開催し好評をえた。

これまでの公演記録

プレ公演『武満徹 vs 三善晃』

(2007年京都市立芸術大学講堂)

vol.1『Emic/Etic 独奏曲の東西』

(2009年ウイングス京都)

vol.2『黛敏郎と矢代秋雄2人展』

(2009年ウイングス京都)

vol.3『早坂文雄と武満徹2人展』

(2010年ARSLOCUS)

vol.4『「こえ」をとらえる』電子音響における「声』

(2011年MEDIASHOP)

vol.5『黛敏郎の電子音楽全曲上演会』

(2011年京都芸術センター)

今後の予定

vol.6『八村義夫 室内楽作品全曲演奏会』

vol.8『石井眞木+伊福部昭一東と西の響きと時間一』

JCMR KYOTO メンバー

清水慶彦

作曲・音楽理論。京都市立芸術大学大学院博士後期課程修了、黛敏郎作品の研究論文で博士号(音楽)取得。作品集CD『六相円融』(studio N.A.T)が『レコード芸術』誌にて推薦盤に選定されるなど好評をえた。京都市立芸術大学非常勤講師、同志社女子大学音楽科嘱託講師を経て大分大学教育福祉科学部専任講師。

竹内直

沖縄県立芸術大学音楽学専攻(民族音楽学)卒業後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科に進学。修士課程を経て現在は同研究科博士後期課程(音楽学領域)に在籍中。専門は洋楽創作史を中心とする日本近代洋楽史および現代音楽論。2009年度柴田南雄音楽評論賞奨励賞受賞。

増田真結

京都市立芸術大学卒業(音楽学部賞、京都音楽協会賞)、及び同大学院音楽研究科修士課程修了(大学院賞)。ドイツ・ブレーメン芸術大学へ交換留学。現在、京都市立芸術大学大学院音楽研究科博士(後期)課程に在学中。第23回現音作曲新人賞受賞、第15回及び18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門一般の部第二位入賞、第78回日本音楽コンクール作曲部門入選。神戸女学院大学非常勤講師。